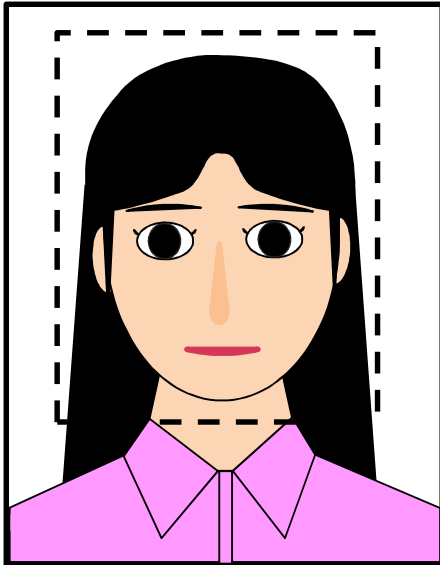
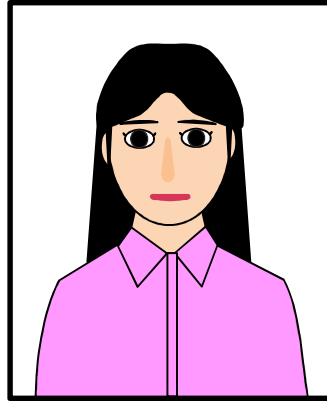


# 不適切な写真例（女性・イメージ）

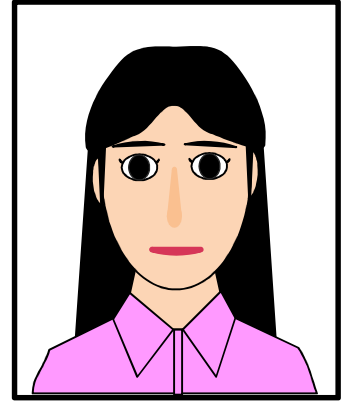
写真が大きすぎる  
例：写真全体に対する顔の比率は良くても、切り抜いた場合の顔が大きすぎる  
（点線が切り取り線）



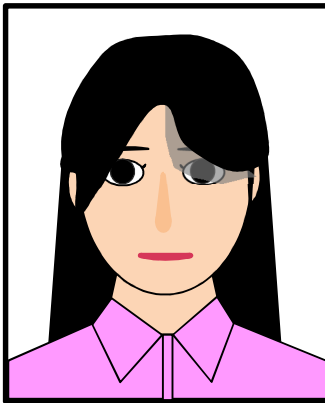
人物が小さすぎる  
写真が小さい



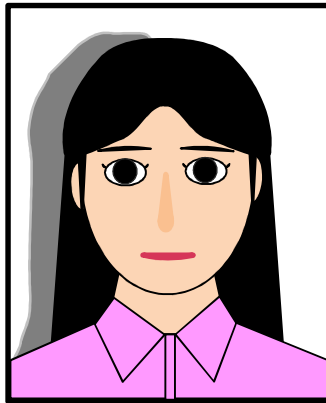
画像を加工している  
（例：細くしている）



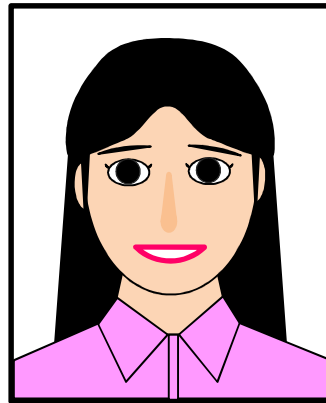
髪の毛で眼、眉が隠れている  
目の周りが影で覆われている



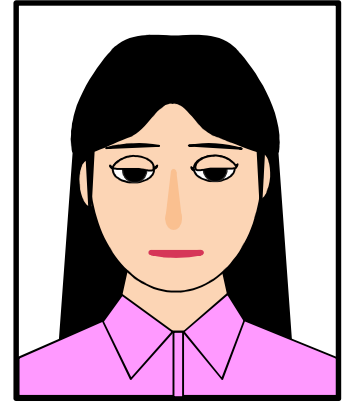
背景に影が写っている



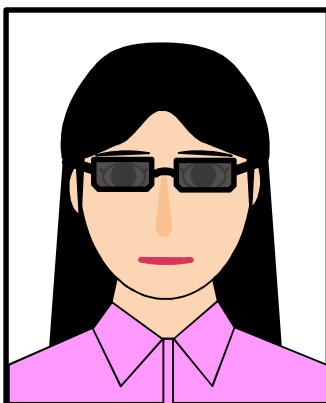
平常の表情と異なる  
表情を作りすぎている  
例：歯が見える笑顔



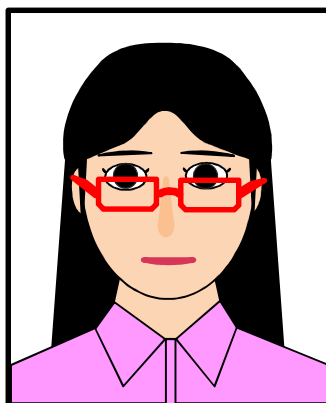
半目、目をつぶっている



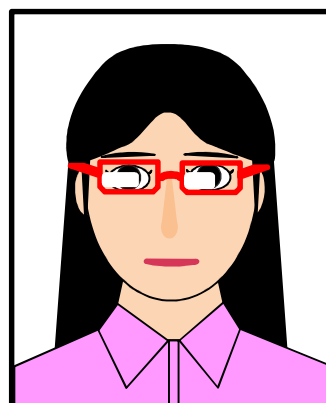
サングラス、濃色レンズの眼鏡着用（人物の特定が困難）



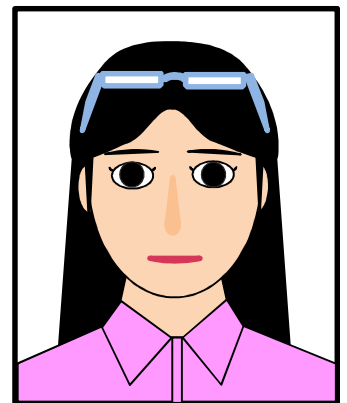
眼鏡のフレームが目についている



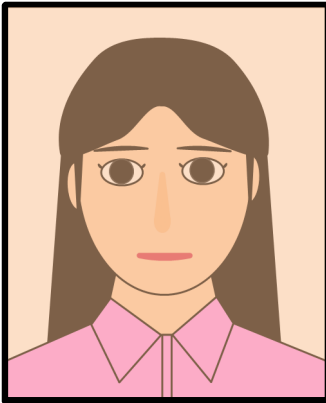
眼鏡のレンズが光って目が見えない



眼鏡を頭に載せている

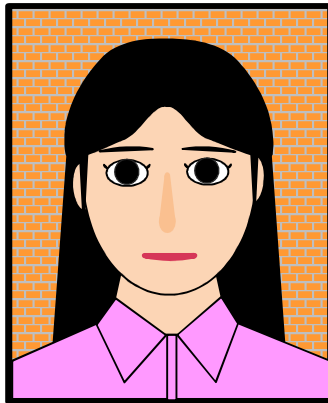


画像が鮮明でないもの  
(全体がぼやけている。)



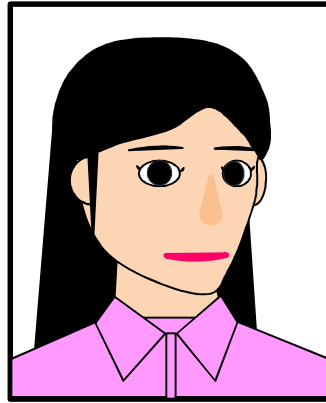
マスクで顔が隠れている

背景がある  
(壁紙の柄、カーテン等)



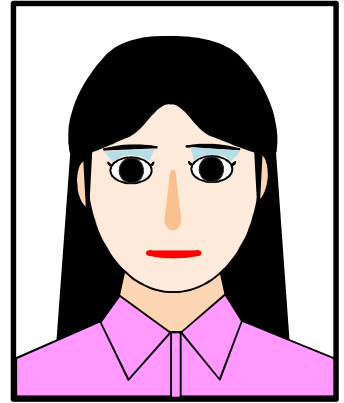
マフラー、服の襟、髪の毛等で顔が隠れている

顔が横向き  
(正面を向いていない)

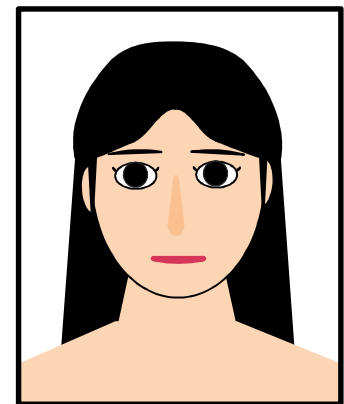
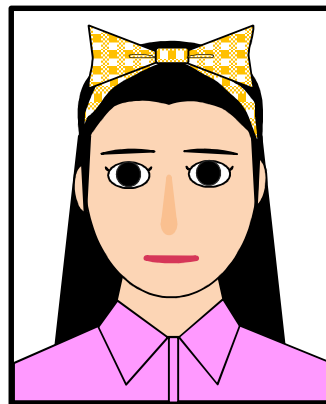
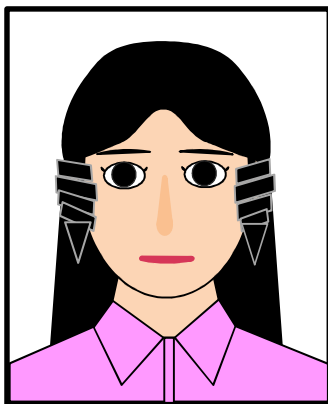


大きなヘアバンド、バンダナ、リボン等をつけている

化粧等の状況が、申請者の  
現状と確認できない



上半身が裸に見える  
(着衣の確認が必須)



### その他不適切とされるもの

- ・ カラーコンタクト (サークルレンズを含む) で瞳の色、大きさが変わっているもの
- ・ スナップ写真を切り抜いたとみられるもの
- ・ 画像の解像度が荒すぎるもの
- ・ 鞆やストラップのベルトが写っているもの
- ・ 背景と服装等が同系色で区別が付きにくいもの
- ・ 背景色がきつ過ぎて人物を特定しづらいもの
- ・ 画像に加工した跡が見られるもの
- ・ 汚れやインクの染みがあるもの
- ・ 家庭で印刷し、インクの定着が悪く、少し擦るだけでインクが取れるもの